

## 第 1 号議案

## 平成 30 年度事業報告及び収支決算

## I 平成 30 年度事業報告

資源の循環利用による林業の成長産業化を図るとともに、国土の保全等の推進、適切な間伐等の実施、路網の整備等を通じて森林の有する多面的機能の維持・向上を図るといふ国の政策の下で、これに対応するためには、森林技術の開発改良、森林技術者とくに現場技術者の育成の必要性がますます高まっており、的確な森林技術と高い見識を有する森林技術コンサルタントに対する期待は大きいものがあります。

このため、森林技術コンサルタント協議会は、産官学が協働してこれらの諸課題の解決に取り組むとともに、森林技術者の研修にも努めてきたところです。特に、公益社団法人森林保全管理技術研究所（平成 31 年 4 月 1 日付けで「公益社団法人森林・自然環境技術教育研究センター」と名称変更）との連携を強化するとともに、運営委員会の専門部会において、これら諸課題の情報収集、調査研究、新たな技術の体系化、実用化を進めてまいりました。また、その成果をもとに、関係官庁の技術担当部局との意見交換を行うことにより、諸制度の改善等へ寄与してきたところです。

また、前年度に関係行政機関等の指導・支援を得て開始した表彰事業（林野庁長官表彰状の交付）を本年度も引き続き実施することにより、会員の資質・意欲及び社会的評価の向上を図ることに努めてきたところです。

主な事業項目と内容は下記のとおりです。

## 1. 総会・理事会等

## (1) 総会

## 1) 通常総会

開催日 平成 30 年 5 月 22 日（火）15：30～17：00  
 開催場所 日林協会館 3 階大会議室  
 議 題 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び収支決算  
 第 2 号議案 その他

## (2) 理事会

## 1) 第 1 回理事会

開催日 平成 30 年 5 月 22 日（火）14：00～15：00  
 開催場所 日林協会館 3 階大会議室  
 議 題 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び収支決算  
 第 2 号議案 会長の選任  
 第 3 号議案 その他

## 2) 第2回理事会

開催日 平成31年3月18日(月) 14:00~17:00

開催場所 日林協会館5階中会議室

議題 第1号議案 平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)について  
第2号議案 その他

## (3) 運営委員会

※メール等により必要に応じて適宜開催。

## 2. 事業報告

### (1) 森林技術の調査研究を通じた技術開発・蓄積・普及・啓発の推進

#### 1) (公社) 森林保全・管理技術研究所との連携

森林保全・管理技術研究開発事業については、本年度は、後期五カ年計画に基づき、次の研究開発等を行った。

##### (i) 研究開発課題

- ① 木材生産林における水土保全技術の確立
- ② 里山における森林整備のあり方
- ③ 非皆伐施業の現状と今後のあり方
- ④ 森林調査手法の現状と今後のあり方
- ⑤ 地球温暖化に伴う山地災害の変化予測と治山施設の適正配置及び機能強化について
- ⑥ 公益的機能発揮のための森林整備の在り方に関する調査研究

①、②については平成30年6月で終了し、⑤及び⑥については新規課題として7月から開始したものである。

(ii) 森林保全・管理技術デジタル・アーカイブの作成

(iii) 森林保全・管理技術の普及啓発

## 2) 専門部会の活動

### ① 平成 30 年度事業計画等打合せ

平成 30 年 7 月 19 日 (木) 15:30~17:00

- ・ 要望事項：H30 年度要望の検討
- ・ 現地検討会など

### ② 林野庁要望事項等打合せ

平成 30 年 9 月 27 日 (木) 15:00~17:00

- ・ 要望事項：H30 年度要望書 (最終案)
- ・ 現地検討会実施 (案)

### ③ 林野庁計画課 打合せ会議

平成 30 年 10 月 15 日 (月) 15:30~17:00

- ・ コンサル協議会の要望に関する意見交換ほか。

### ④ 森林技術情報に関する検討会議

平成 30 年 12 月 6 日 (木) 15:00~17:00, 日林協会館 5F 中会議室

- ・ 林野庁担当者との意見交換ほか

### ⑤ 林野庁要望回答書の協議とまとめ

平成 31 年 1 月中旬~2 月 12 日 (火)

- ・ 林野庁要望回答書の内容協議ほか。

\* 林野庁要望回答書の公開 (森林技術コンサルタンツ協議会 各社へ送信)

### ⑥ 平成 31 年度事業計画等打合せ

平成 31 年 2 月 27 日 (水) 15:00~17:00

## (2) 森林技術者の技術力の向上のための継続教育の推進

1) (一社)森林・自然環境技術者教育会及び(公社)森林保全・管理技術研究所が主催する森林分野 CPD 研修会を開催し、広報、資料作成、講師選任、参加者募集、会場準備、研修会運営などを行った。

### ① 森林技術者講習会 (仙台)

日時：平成 30 年 7 月 30 日

場所：仙台市：ガーデンシティ仙台

講師・演題：

- ・「東日本大震災で被災した仙台港沿岸域の海岸防災林の再生について」  
齋藤 哲（仙台森林管理署 署長）
- ・「栗駒山麓における山地災害について」  
宮城豊彦（東北学院大学 教養学部地域構想学科 教授）
- ・「森林事業における安全衛生管理について」  
中谷紀行（国土防災技術株式会社品質安全管理部 部長）

② 森林技術者講習会（札幌）

日時：平成30年10月30日

場所：札幌市：ANAクラウンプラザホテル札幌

講師・演題：

- ・「最近の土砂災害について」  
小山内 信智（北海道大学農学研究院国土保全学研究室 特任教授）
- ・「熊.地震による山腹崩壊・地すべりについて～熊本地震，北海道胆振東部地震の事例から～」  
堂本 整（北海道森林管理局 次長）
- ・「グラウンドアンカーの維持管理上の課題と新工法の開発」  
小町 理氏（サンスイ・ナビコ（株）営業開発部長）  
高橋 里沙（サンスイ・ナビコ（株）営業開発部 主任）

③ 森林技術者講習会（高知）

日時：平成30年11月20日

会場：高知市：サンピア セリーズ 3F マリンホール（高知市）

講師・演題：

- ・「四国森林管理局治山事業の取り組み」  
目黒 剛志（四国森林管理局 計画保全部 治山課長）
- ・「土砂災害とそれに関連する地形」  
笹原 克夫（高知大学教育研究部自然科学系理工学部門 教授）
- ・「森林事業における安全衛生管理について」  
中谷 紀行（国土防災技術株式会社 品質安全管理部 部長）

④ 森林土木事業技術講習会（熊本）

日時：平成30年11月22日

場所：熊本市：ホテル熊本テルサ

講師・演題：

- ・「朝倉災害関連」  
井口 真輝（九州森林管理局 計画保全部 部長）
- ・「近年の災害発生事例等について」  
落合 博貴（株式会社 森林テクニクス 技術顧問）
- ・「路網・林道整関連」  
櫻井 倫（宮崎大学 農学部 准教授）

⑤ 里山部会報告会

日時：平成30年12月5日

会場：東京：日林協会館

講師・演題：

- ・「里山林が抱える現状と課題」  
大野亮一（国土防災技術（株） 技術本部 情報技術課長）
- ・「土地利用計画の策定が里山林整備に与えた影響」  
亀山 章（公益財団法人 日本自然保護協会 理事長）
- ・「里山林の生産機能の持続とそれを活用した地域活性化の試み」  
大久保 達弘（宇都宮大学 農学部 森林科学科 教授）
- ・「治山事業に伴う里山林の整備について」  
柳内克行（JCE ホールディングス 代表取締役 社長）

⑥ 森林土木事業技術講習会（静岡）

日時：平成31年2月1日

会場：静岡

講師・演題：

- ・「静岡県の森林・林業施策について」  
藪崎 公一郎（静岡県 経済産業部 森林・林業局 局長）
- ・「近年の災害発生事例等について」  
落合 博貴（株式会社 森林テクニクス 技術顧問）
- ・「富士山周辺の土砂災害の特徴」  
今泉 文寿（静岡大学 学術院 農学領域 准教授）

2) 森林部門技術士第二次試験受験講習会開催

日 時 平成31年3月8日（金）

会 場 日林協会館3階大会議室

受講者 23名

講師・演題：

- 奥谷 由行：①技術士制度  
②技術士試験の見直し  
③受験申込書（業務経歴票など）の書き方  
④口頭試験対策
- 高木 茂：①筆記試験への対応  
②技術士試験のための文章の書き方
- 本山 芳裕：森林政策・森林技術の動向
- 石井 剛：私の受験対策

### 3) 森林技術基礎研修

日 時 平成 30 年 4 月 23 日 (木) ~24 日 (金)

場 所 日林協会館 5 階大会議室

受講者 27 名 入社 5 年以内 20 名、その他 7 名

講師・カリキュラム

渡邊 悦夫：治山技術基準の解説

奥谷 由行：林道規程基準の解説

鎌滝 晋：作業システムと路網計画

弘中 義夫：技術者倫理と継続教育(CPD)

小山 浩之：森林環境保全と森林土木

### 4) 現地研修会

平成 30 年 10 月 25 日 (木) 13:00~17:00

・候補地：静岡県由比地すべり。

・静岡県由比地すべり管理センター 会議室 (2F)

・講義：2 件 (土屋智、内田勉) ・現地見学

・参加者 19 名。

### 5) 表彰事業の実施 (林野庁長官表彰状の交付)

平成 30 年度林野庁長官表彰状は、平成 31 年 2 月 28 日付で 20 点の優秀な森林技術コンサルタント業務 (別紙「平成 30 年度長官表彰状受賞者一覧表」) に対して授与された。

### (3) 森林技術コンサルタント事業に携わる業界の社会的使命に関する宣伝、啓発、指導及び助言

談合等の不法行為の排除や企業コンプライアンスの徹底により、適正な競争環境を維持する努力を続けるが、ダンピング受注に伴う成果品の品質低下が顕在化など、発注者や施工業者からの指摘をうけ、「倫理綱領」及び「職業倫理行動規範」の徹底を図るなど、品質確保の取り組みを推進した。

### (4) 政府及び公共団体等に対する意見の具申及び提言

日 時 平成 30 年 9 月 3 日 (月)

陳情先 国有林野部長

陳情者 辻会長他運営委員

1) 林野公共予算の確保・拡充

2) 本協議会への継続的な支援及び活用ほか

**(5) 広報活動の推進**

E-mail（同報メール）及び本会ホームページを活用して積極的な広報活動を行った。

**(6) 緑化啓蒙活動等の推進**

「水都おおさか森林の市（2018）」に例年通り参加し、災害に対する森林技術コンサルタントの果たす重要な役割等について、広く市民にPRした。